

郷土にまつわる歴史講座
(協力・明治文庫の会)

きやま

消された城山城

～天智天皇と
藤原鎌足・不比等のはかりごと～

高松短期大学講師

講師 西岡 達哉氏



日時 令和5年3月12日(日)

午後1時30分から3時

場所 マルタス1階多目的ホール

定員 60人 ※先着順でお願いします

料金 無料

問合せ 丸亀市立中央図書館

TEL0877-22-3746



城山城跡のホロソ石

令和5年3月12日（日）

午後1時30分～3時

郷土にまつわる歴史講座

演題 「消された^{きやま}城山城
～天智天皇と藤原鎌足・不比等のはかりごと～」

講師 高松短期大学講師
西岡 達哉氏

城山城は、総面積168ヘクタールの全国第2位の規模を誇り、石塁と土塁が総延長7キロメートルにわたって張り巡らされた要害堅固な古代の朝鮮式山城です。ところが、「日本書紀」に記載された屋嶋城の陰で、日本史における存在感はほとんどありません。

なぜ城山城が屋嶋城の陰で歴史の闇の中に埋もれたのか。

その背景に天智天皇と藤原不比等を中心とした大和朝廷の策略があったことを解き明かします。



城山城跡の城門跡